

No. 40

1998

4月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
富田隆仁
印刷
下市田・キタバヤシ印刷



里曳き開始前の木遣り



斧入式



里曳き(南)



里曳き(北)



御柱建立

式年祭御柱祭賑わう

寅年の皆さんを中心に、大勢の区民が参加し、天候に恵まれて盛大に行なわれた。

三月 一日 関係者合同会議
三月 八日 御柱検木
三月 十五日 御柱山出し
三月 二十二日 綱打ち
三月 二十九日 御柱里曳き、建立

区の情勢について

区長 富田隆仁

第四十号発刊に当り区の情勢を報告致します。

去る三月二十九日には秋山神社式年祭にて御柱が順礼沢、大丸山より引き出され、里曳きが盛大に行なわれました。又平成十年度の区の予算が二十三日に代議員会に於て承認となりました。本年も低金利の影響を受け緊縮の財政運営が基本となります。区民会館南の県単土地改良事業も三月末完成致しました。皆様の協力の賜であります。幹線道路南大丸川より区民会館迄素晴らしい道路となりました。区内基幹道路であり将来発展の元となります。

又河原地区の用排水工事も役員皆様のお骨折りにより進行しております。又農業用水の牧ノ内堤も三月末完成となりました。総事業費約八千万円であり、地元負担も必要となります。築堤も階段式であり安全を念頭におき改良されました。将来親水を柱とした町民憩いの場になる事も予想されます。又南大丸川沿いのふる里農道については、地主さん又家屋の方々と協議の結果現地測量が始まりました。今後結果が出来次第交渉が重ねられると思います。

健康センターについては、調査委員皆様の御努力により提出されました。報告書を町へ提出、早期着工を陳

下市田区分間地図

寄贈される

Ⅱ下市田区Ⅱ

調製人 福島県若松町 林 太郎氏

調製年 明治三十年九月
規模 新聞全紙大のもの
八十余枚

寄贈者 下市田 塩沢徳雄さん

この地図は明治中期の下市田全区の耕地等の様子を

文責 下市田史談会

会長 手塚友逸

知ることのできる非常に貴重なもので、寄贈された塩沢さんは「宝の持ち腐れにならないように」と言うことで、下市田史談会を通してこの度区の方へ寄贈されました。区では大切に保存できるように、史談会に表装するように依頼し、公開したいと思っています。

委員会活動報告

土木委員長 上沼俊彦

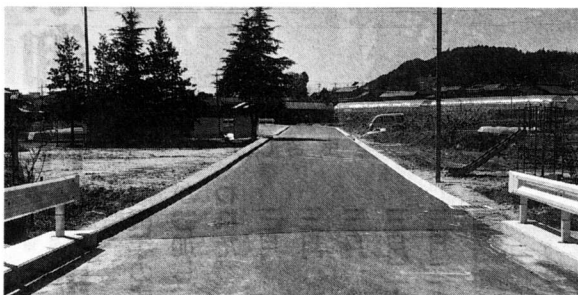
委員会事業につきまして、区民皆様方には大変御世話になっております。私達は、地区計画に出された工事に取り組んでまいりました。今年度事業も、関係皆様方の御協力で当初計画が全て完了致しました。それは今年度の事業経過を報告致します。

道路改良では、社護地線、参道線、間ヶ沢線、中谷線、塚踏切線、坂牧線、大丸山線で拡幅改良され素晴らしい道路の完成を見ました。道路維持では、牛牧通学路、進栄北、福島医院南、新井ミシン店西側で側溝整備がされ、又一号線保育園で、今迄十二月末を切替えて、今迄十二月末を切替えて、任期として参りましたが、代議員会に計り三月末を切替えとする様提案致しました。現在の委員・常会長の皆様に平成十一年三月迄の御骨折りを願う前提で提案致しました。研究を頂き六月頃迄に結論を出す様にしたいと思っております。よろしく御判断を頂ける様お願い致します。以上

式年御柱大祭に寄せて

秋山神社氏子総代 田戸純市

御柱の由来を本元である諏訪大社に求めると、平安朝初期桓武天皇の御代から、
~~~~~  
すが、まだまだ区内の道路も整備されたとは言え、他地区に比べ遅れております。これから関係皆様の協力を賜り地区計画に基づく計画工事が実施完了出来る様、任期中私達も一生懸命努力してまいりたいと思いますので、区民皆様方の御理解御協力を御願い申し上げます。委員会報告と致します。



幹線道路

當下市田古瀬に鎮座する本殿は歴史も古く、松岡氏の始祖平六郎貞則より数えて百二十年程後の、第四代領主帯刀が、武人の崇敬が極めて篤いとされた、諏訪明神を自領地内に勧請、武運長久、領内平安を祈願したと記録されて居る。従って勧進祭祀された寿永年代から、諏訪の本社に習って式年御柱が大祭として、古式の儘で続いて伝承されているのである。古代の人の山の大木を神籬として、信仰したのが、御柱祭事の原因となったと考えられる。

# 高森町公民館下市田分館館則

(名称及び事務所)

第1条 本館は下市田支館と称し(以下支館という)事務所を下市田区民会館に置く。

(支館員)

第2条 本館は、下市田区民をもって支館員とする。

(目的)

第3条 この支館は、支館員の文化的教養を高め、産業の興隆と社会福祉、コミュニティ、健康の増進に寄与することを目的とする。

(分館の設置)

第4条 この支館に次の分館をおく。

| 名称     | 略称   | 事務所           |
|--------|------|---------------|
| 下市田一分館 | 下一分館 | 下市田一区生活改善センター |
| 下市田二分館 | 下二分館 | 下二 会 館        |
| 下市田三分館 | 下三分館 | 力 行 会 館       |
| 下市田四分館 | 下四分館 | 下市田四区生活センター   |
| 下市田五分館 | 下五分館 | 下 五 会 館       |
| 下市田六分館 | 下六分館 | 出砂原地区館        |

(役 員)

第5条 支館には次の役員を置く。

- (1) 支館長 1 名 (2) 副支館長 1 名 (3) 支館主事 1 名
- (4) 分館長 6 名 (5) 分館主事 6 名
- (6) 分館長会長・教養部長・体育部長・図書部長・視聴覚部長 各 1 名
- (7) 各部副部長 1～2 名
- (8) 各部員 若干名(正副部長を含む部員数は各分館＝教養部・図書部－2 名、体育部－3 名、視聴覚部－1 名、但し 200 戸以上の分館は 2 名とする。)

(選 出)

第6条 各支館の役員は次の方法により選出する。

- (1) 支館長・副支館長・支館主事は、各戸 1 票による区民の一般選挙による。
- (2) 分館長・分館主事は、各区の選出による。分館長会長は、各分館長の互選による。
- (3) 各部員は各区の選出による。各部の正副部長は、各部員の互選による。

(任 期)

第7条 支館役員の任期は 2 カ年とし、補欠選任者は前任者の残任期間とする。任期は期間満了の 12 月末日とする。

(役員の任務)

第8条 支館役員の任務は次のとおりとする。

- (1) 支館長は支館を代表し、支館の事業運営のための必要な事項を行う。
- (2) 副支館長は支館長を補佐し、支館長事故あるときは職務を代行する。また支館主事業務の一部を担当する。
- (3) 支館主事は支館長の命をうけて、会議・事業執行・会計等の事務処理および条件の整備に当たる。
- (4) 分館長・分館主事は支館長の命をうけて、部落長と協議の上、各部落に関わる支館事業の推進に当たる。
- (5) 部員は、支館長・部長の指示を受けて事業執行に当たる。

(各部の任務)

第9条 各部の任務は次のとおりとする。

- (1) 教 養 部－区民生活の向上に資する事業を行ない、文化諸サークルの養成を計る。

## 公民館の組織が変わる 下市田が支館に 各区が分館

四月から、下市田公民館の組織が変わり、次のようになる。

下市田区は、下市田分館が下市田支館に、正副分館長が正副支館長に、分館主事が支館主事になる。各部落は、(一区で例示)下市田一区が下市田一分館に、分館長を新設し、部落主事が分館主事になる。従来高森町公民館では、従来分館単位で運営や事業を行ってきたが、各分館の運営や活動がしやすくなる。この改正で運営や事業面では今までと変わることはないが、各分館の運営や活動がしやすくなる。この改正で運営や事業面では今までと変わることはないが、各分館の運営や活動がしやすくなる。

てきたので分館規模のアンバランスが問題となっていた。昭和五

- (2) 体 育 部－体育向上に関する事業を行う。
- (3) 図 書 部－図書による啓発指導を行う。
- (4) 視聴覚部－視聴覚教育に関する事業を行う。

(支館の会議)

第10条 支館の会議は、運営委員会・分館長主事会・部員会とし、必要に応じて支館長が招集する。

(会議の任務)

第11条 支館の会議の任務は次のとおりとする。

- (1) 区代議員会は、支館の予算・決算・事業計画・報告の審議、承認、館則の改訂、その他重要な事項の決定。
- (2) 運営委員会は正副支館長・支館主事・分館長・分館主事・正副部長・正副代議員会長・部落長で組織し、事業運営について協議。
- (3) 分館長主事会は、分館長・分館主事で組織し、事業運営について協議。
- (4) オール部員会・各部員会は全体または担当する事業の運営遂行のため協議。

(経 費)

第12条 支館の経費は区の会計から支出、および町その他の補助金をこれにあてるものとする。

(会計監査)

第13条 支館の会計監査は区の監査委員により実施を受けるものとする。

(会計年度)

第14条 支館の会計年度は毎年 4 月 1 日から始まり、翌年 3 月 31 日に終わるものとする。

(館則の改訂)

第15条 本館則の改訂は区代議員会に付し承認を得るものとする。

附 則

平成10年 3 月 7 日一部改訂。

平成10年 4 月 1 日から施行する。

(付則等の一部省略)

## 区厚生委員会が 環境衛生委員会に 酒井安雄

当委員会名の「厚生委員会」は、厚生部が体育部的な感じがするように、体育関係の委員会と混同しやすいので、「環境衛生委員会」と改名したのでご報告致します。

委員会の事業は、町の年間行事計画に基づいて行っています。春先に有害物質収集(電池等)、一般廃棄物、粗大ゴミ収集等が主な事業です。一般廃棄物は二ヶ月に一回収集します。

年々ゴミの量が増大しています。分別等出し方の決まり、出荷時間を守ってください。清潔検査はマンネリ化し不在の家、施錠した家が多く、検査用紙をポストに入れて来るだけでは意味がないということで、巡回をやめています。

年々深刻化する環境破壊やゴミ問題、中小焼却炉から発生が予想される有毒ガス、ダイオキシン等の対策、リサイクルできるゴミはリサイクルの推進を進め、ゴミを減量化し、地球にやさしい環境対策をしなければなりません。



## 萩の里

## ふれあい広場

民生児童委員 宮澤 マユミ

五歳以上、お二人で支え合って暮ら

三月六日、第九回萩の里ふれあい広場が、招待者三百数十名ご参集のもと、やすらぎ荘にて行なわれました。

お招きした方は、きびしい時代を、遅く生き抜かれ、ご苦労をなされた、八十歳以上のお年寄り、七十

い日でしたので、天候を心配しました

が、当日は穏やかな晴天に恵まれ、皆さんのお顔もはれはれと、集まってくられました。

十時、開会式に続いて、可愛らしい下市田保育園児が、今年はおヨチ歩きのお満月も加わって入場し、大拍手で迎えまし

た。一生懸命にうたや、おどり、獅子舞など披露してくれて参加者も大よろこびでした。

今の世相を考えると、未来を託すこの子供さん達が、心身共に健康で、真直ぐに育ってほしいと願う気持ちは、皆さん同じだったと思います。

昼食は、実行委員が真心こめての手料理の炊き込みごはんなどを、楽しく語らいながら頂戴して、皆さんおいしかった、おいしかったと、満足しておられました。

午後は、地域の方達の、それぞれのグループによる大正琴、おどり、民謡、尺八などの余興があり、楽しく、くつろいだひとときを過ごされ、春を告げる草餅で三時のお茶を飲み、無事に閉会となりました。

皆さんは元気に集い合えたことを共によろこばれ、「また来年も」を宣言に、笑顔で帰途につかれました。

お一人お一人、多少の困難があっても、頑張っておられるお姿に接し、私自身、励まされ、勉強させていただいた一日でした。お手伝いさせていただいたことに感謝いたします。

## ふれあい広場に

## 参加して

小林 恵

第九回萩の里ふれあい広場が、三月六日やすらぎ荘で開催されました。五日の午後は雨降りでしたが、明日は雪降りでしたので、明日は白一色だろうと、床に入り

ました。朝カーテンを開けたら雪もなく春の日和となり喜んで近所の皆さんと迎えるの車に乗りました。

会場の二階に上り見回すと、二〇〇人余りの招待者で準備をされた席も込んでいました。主催と来賓の挨拶があり、早速お茶と菓子

を頂きながら下市田保育園児の歌や踊り、獅子舞を見て頂き、感動して目頭が熱くなりました。園児と向い合って昼食をしながら家庭生活や友達のこと、遊びの話で楽しみました。

午後は各地区の大正琴、民謡、民謡と大へん見事な演技で時を忘れる一日でした。この広場の開催は町の福祉協議会と下市田区実行委員の皆様が格別な御骨折りに下さった賜と心から厚く御礼申し上げます。

尚、区には昨年より立派な会館が出来ておりますので、種々御都合がある事と推察致しますが、出来る限りことなら近い場所で開催して頂くよう参加者が増加すると思われま

で、種々御都合がある事と推察致しますが、出来る限りことなら近い場所で開催して頂くよう参加者が増加すると思われま

ふれあい広場に  
参加して  
下井トモ江

天気心配されましたが晴天に恵まれ、お迎えの車でやすらぎ荘へ向いました。懐かしい方々にお目にかかれてお互いに肩をたたき、出席してよかったと喜びありました。実行委員の方、町長さんや役員の方の挨拶が始まり、それぞれに暖かいねざらいと励ましの言葉

を頂きました。下市田保育園児の皆さんが祭りの法被を着たり自分で作った獅子頭を持ち、それぞれの年齢によって先生の指導の元に歌や踊りを元氣よく披露して下さり、オリンピックの歌「WAになって踊ろう」を踊って

くれ楽しく見せていただきました。遠くに居る曾孫に思いが行き一層可愛く見えました。心づくしのお昼は園児と向き合っ

て頂き始め、魚より肉がいいと言っていた子も、先生の「残さないように食べなさい。」の一言で残さず食べ感心しました。家には丁度園児の年頃の子供が居ないので、話し乍ら楽しく食事が出来ました。アトラクションに皆々様の上手な大正琴や民謡を見せて頂き楽しませて頂きました。

高齡九十歳以上の方から幼児迄、一つの会場に集まり親睦が出来ましたことは、実行委員、役員の皆様のお骨折りがあってこそ感謝し、楽しく過ごさせて頂きました事を厚く御礼申し上げます。



ふれあい広場  
参加して  
下井トモ江

ふれあい広場  
参加して  
下井トモ江



# 浦安の舞・典雅に奉納

## 春祭り 盛大に開催

萩山神社春祭りが、去る三月二十八日(土)・二十九日(日)に行なわれました。

両日とも麗らかな晴天に恵まれこの上ない祭り日和となりました。

大勢の氏子の皆さんが見守る中、勇壮に御柱が建てられ、続いて、厳かな雅楽の調べにのって、優雅に、浦安の舞が奉納されました。

日本人のアイデンティティ心の奥底を揺るがせる佳き祭りでありました。

二区 塩沢真由美

今、浦安の舞を終えてほっとしています。数少ない練習の中での舞を覚えることは、簡単そうでも難しいことでした。

浦安の舞を一度も見たことがなかったためか、練習が始まり、これほど難しいのかと実感しました。本番、頭の中が真っ白になりました。終わってみると貴重な経験をしたいなと思いました。

四区 小島幸恵

浦安の舞を一度も見たことがなかったためか、練習が始まり、これほど難しいのかと実感しました。本番、頭の中が真っ白になりました。終わってみると貴重な経験をしたいなと思いました。

浦安の舞を実際に見たことがなかったため不安もありましたが、無事終えることができました。地元の伝統行事に直接関わることができたので、大変うれしく思います。また、今年は御柱ということもあり、幸運が重なりました。ありがとうございました。

六区 佐藤江利子

浦安の舞を実際に見たことがなかったため不安もありましたが、無事終えることができました。地元の伝統行事に直接関わることができたので、大変うれしく思います。また、今年は御柱ということもあり、幸運が重なりました。ありがとうございました。

一区 澤良美

軽い気持ちでお受けした舞姫ですが、実は二度目の体験になりました。一度目は二百年大祭、今回七年に一度の御柱という特別な年に参加させて頂くことが出来ました。一度でも貴重だといふのに、二度も体験できた私は、とてもいい思い出になりました。

三区 酒井真紀

二十九日の御柱のお祭りで、私は浦安の舞の舞姫として参加させて頂いたことになりました。もちろん初めてのことで、上手いできるか心配でした。しかし皆さんのご指導のもと、この大役をはたすことができました。とてもうれしく思います。ありがとうございました。

五区 峯平里香

私は、五区の代表として「浦安の舞」の舞姫に選ばれました。とても貴重な体験であり、また光栄な事だと思いました。当日も、いろいろな面で不安もあり、緊張してばかりでしたが無事に舞を奉納する事ができました。本当に、良い経験となりました。



2 区  
塩沢真由美さん



1 区  
澤良美さん



4 区  
小島幸恵さん



3 区  
酒井真紀さん



6 区  
佐藤江利子さん



5 区  
峯平里香さん

## 体育部よりお知らせ!?

爽やかに汗を流し



### 運動不足解消を!!

6月7日 区民会館(参加自由)

下市田公民館主催

『軽スポーツ・健康教室』開催予定

子供さんお年寄り、性別に関係なく気軽に体験して下さい。

軽スポーツを専門の指導者の元で楽しく体験して下さい。

(詳細は後日広報宣伝します。)



## ドッジボール大会結果

2月1日町民体育館で行なわれた結果は次のとおりでした。ごくろうさまでした。

| 男子の部 | 優勝 | 4区 | 女子の部 | 優勝 | 5区 |
|------|----|----|------|----|----|
|      | 2位 | 3区 |      | 2位 | 4区 |
|      | 3位 | 5区 |      | 3位 | 6区 |
|      | 4位 | 6区 |      | 4位 | 3区 |
|      | 5位 | 2区 |      | 5位 | 2区 |



# 奉仕活動の紹介

三分館長 上沼義人

三区の年間事業計画に、環境創り、人創り、地域作りの項目が掲げてあります。この中の幾つかを紹介します。

一つに、花壇の手入れと力行会館の清掃です。既にご存じのように国道と軌道との間に下市田駅より南へ

と、南小通学路の二ヶ所に花木が植えられていますが、これらの管理は三区民全戸が当番で当り、よりきれいな花を咲かせ道行く人の心を和ませています。又会館の清掃も同様、いつもきれいな状態で使用出来るよう努めています。

## 地域の紹介

### 俺らが部落

四分館長 橋都栄一

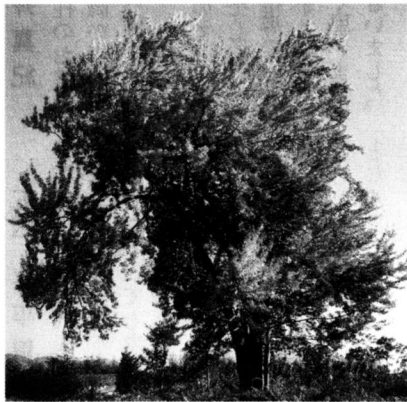
四区の北端は間ヶ沢川より竜西線に沿って南大島川迄と、西は里山を挟んで上段の新井地籍迄、同じ部落でありながら飛地のある部落です。戸数も下市田で最も少ない。それでも最近少し増えもう少し百を数える迄になりました。旧会所が五十五年に改築生活改善センターとして生まれ変わり、其の後又増築、部落の要としてフルに活用されています。新井地区の高台に



田保育園の年長さんをお願いし唄と遊戯でもてなし、共に会食をしながら楽しい一日を過ごせるよう努力しています。

て頂いています。

三つ目には、養育会の活動です。この会は三区内の若者の親睦を深めるとともに会員相互の連帯及び活動を通じて、力行会の発展に寄与するを目的としている会です。コミュニティ行事はもとより各事業にも参加活躍され、大変ありがたい存在です。唯ここにきて会員の減少が気掛かりです。一人でも多くの若者にこの会に入ってもらい、大きくなった三区の輪を一層強く結びつけるよう共に努力して行きたいものです。



県天然記念物秋のハナノキ

ています。今年は町政四十周年との事で、故郷ミュージカルが行なわれ飯田城主家臣として出演依頼があり、漸進会より五名参加して居ます。これも松岡城との因縁かと思ひ協力しているところです。又町よりの祝金の使途について協議の結果、部落を天然記念物のハナノ木で飾ろう。と云う提案が有り早速山本のハナノ木友の会にお願いし正副部落

## 平成10年度 下市田公民館年間事業計画

| 体 育 部            |                                                                                                                                         | 教養部・視聴覚部                     |                                                               |
|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 月日 曜             | 行事名・内容                                                                                                                                  | 月日 曜                         | 行事名・内容                                                        |
| 6/7(日)           | 下市田区健康の集い<br>(区民会館)                                                                                                                     | 3/28(土)<br>29(日)             | 郷土芸能発表会<br>(御柱祭り)<br>(ビデオ撮影・編集)                               |
| 7/12(日)          | 町スポーツ大会                                                                                                                                 | 5/23(土)                      | 教養講座(講習会)                                                     |
| 8/16(日)          | 町盆野球大会<br>(小中グラウンド)                                                                                                                     | 6/20(土)                      | 地元出身町議との懇談会                                                   |
| 10/18(日)         | グラウンドゴルフ等<br>スポーツ大会<br>(区民広場)                                                                                                           | 7/25(土)                      | 萩の里祭り<br>(下市田区民広場)                                            |
| 平成11年<br>2/14(日) | 町スポーツ大会                                                                                                                                 | 9/26(土)<br>10/17(土)<br>18(日) | ・盆踊り<br>・お楽しみコーナー 他<br>区のカラオケ大会<br>文化祭り・敬老会<br>・クラブ発表<br>・作品展 |
| 図<br>書<br>部      | 1. 図書の貸し出し……………下市田区民会館図書室<br>・定期日 毎月15日(但し8月は10日)<br>・時 間 5～9月 PM 8:00～9:00<br>10～4月 PM 7:30～8:30<br>・定期日以外の日(部員不在) 備え付けのノートに記入して利用できる。 |                              |                                                               |
|                  | 2. 図書の購入……………6月                                                                                                                         |                              |                                                               |
|                  | 3. 新図書の展示……………文化祭りの当日                                                                                                                   |                              |                                                               |
|                  | 4. 図書の修復及び整理……………随時                                                                                                                     |                              |                                                               |

## 平成10年度 各部落コミュニティ事業年間計画

| 体 育 事 業 |                                                                   | そ の 他 事 業                                  |                                                                                           |
|---------|-------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 部落 月日 曜 | 行事名・内容                                                            | 月日 曜                                       | 行事名・内容                                                                                    |
| 一区      | 4/12(日) スポーツ大会(町民グラウンド)<br>(グラウンドゴルフ)                             | 7/4(土)<br>10/11(日)                         | ふれあい広場(中央公園)<br>芸能発表会・交歓交流会<br>(下市田区民会館)                                                  |
| 二区      | 10/11(日) 1区小運動会(町民グラウンド)                                          |                                            |                                                                                           |
| 二区      | 6/14(日)<br>11/3(火)                                                | 7/1<br>9/1                                 | 第7回下市田2区納涼祭<br>(下二区館多目的広場)(駐車場)<br>生涯学習(下市田2区)<br>(小中学校PTA・育成会)                           |
| 三区      | ふれあい運動会<br>(下二区館多目的広場)(駐車場)                                       |                                            |                                                                                           |
| 三区      | 10/10(土) 3区ミニ運動会<br>(南小グラウンド又は下市田保育園)                             | 4/29(水)                                    | マレットゴルフとお楽しみ演奏会<br>(区民広場・下市田区民会館)                                                         |
| 四区      |                                                                   | 7/5(日)                                     | 部落ふれあい広場(生活センターに部落の老若男女が集い常会毎に催し物に趣向を凝らして行なう。カラオケ・漸進会によるビール他販売コーナー等)                      |
| 五区      | 9/6(日) スポーツ大会<br>(南小体育館・グラウンド)<br>・グラウンドゴルフ・ソフトバレー<br>・綱引き(雨天のとき) | 10/5(日)                                    | アパート及び独立世帯との交流会<br>(5区会所) 日頃独立世帯の方達及びアパート住まいの方々との交流がないので交流の機会を設け懇談する。                     |
| 六区      | 5/10(日) 常会対抗グラウンドゴルフ大会<br>(出砂原運動広場)                               | 8/2(日)<br>15(土)<br>16(日)<br>18(火)<br>18(火) | 納涼祭(お祭り広場)<br>・盆踊り大会(お祭り広場)<br>灯籠流し・煙火大会<br>(出砂原地域・天竜川原)<br>小中学生ふれあい<br>(生涯学習補助事業)(場所・未定) |



## 遠かった海が身近に 故郷が遠くへ

2区出身 松島義章  
(横浜市在住)

海を初めて見たのが今から五十年前、昭和二十三年六月の小学六年の修学旅行です。三河湾に注ぐ豊川河口の前芝海岸で、その印象は水平線が見えたことと、水が塩辛かったことを今でも鮮明に記憶しています。潮干狩りではアサリやハマ

遠かった海も昭和三十一年に鎌倉へ来て以来、最も身近なところとなっています。その後、博物館に勤め

たが、これを人生の節目として、これからも暫くはこの仕事を通じ、微力ながら情報処理分野の発展に尽くすべく、努めて参りたいと思っています。

現在八王子に住し、最近の二年は甲府に単身赴任の生活です。故郷が近くなりいつでも帰れるという思いはありますが、拘束される事が多く、なかなか思うに任せません。そんな中でも時折帰省した時は、南小学校校庭の南端に行きます。山並みと天竜の流れを背景



## 下市田のみなさんへ いっしょに

グリを採って感激でした。

目の研究を進めています、春は九州の海、夏は北海道の海へと日本列島を南から北へと出かけ、いろいろな場所でさまざまな表情に接し感動しますが、前芝海岸での最初に実感した水平線は、山脈に囲まれた伊那谷育ちにとって強烈な印象と

に眼下に広がる下市田のパノラマは、美しい故郷の移り変わりへの感慨と、日頃の忙殺から開放された心のやすらぎを与えてくれ、しばし時の経つのを忘れず。こんなところにも、故郷が心の支えとなっているのだと感じております。

今生家は弟夫婦が継ぎ、両親も健在で野菜作りに精を出しております。これから先、故郷の皆様と心の触れ合いが出来る日もあると期待しております。

(北沢義美さんの御子息)

## 故郷への便り

1区出身 北沢 儀  
(八王子市在住)

先日の長野オリンピックで大島山の獅子舞が放映され、今年も間もなくやって来る萩山神社祭礼の獅子舞とダブらせながら見入っていました。幼い日やった獅子曳きの事も懐かしく蘇ってきました。



機器の開発・生産に携って参りました。思えばこの間のコンピュータ技術の変遷は目覚しく、夢中で頑張ってきました。当時と比べ、今のパソコン・インターネットの時代を考える時、隔世の感があります。今年知命の歳になりました。

## 平成10年度 下市田公民館予算書

(平成10年4月1日～平成11年3月31日)  
平成10年3月23日議決

| 歳入の部 (単位 千円) |       | 歳出の内訳   |       |
|--------------|-------|---------|-------|
| 科 目          | 予算額   | 目       | 予算額   |
| 1. 繰越金       | 170   | 1. 総務費  | 1,943 |
| 2. 繰入金       | 3,010 | 2. 教養部  | 1,154 |
| 3. 補助金       | 900   | 3. 体育部  | 553   |
| 4. 雑収入       | 1     | 4. 視聴覚部 | 278   |
| 歳入合計         | 4,081 | 5. 図書部  | 107   |
| 歳出の部         |       | 6. 予備費  | 46    |
| 科 目          | 予算額   | 歳出合計    | 4,081 |
| 1. 公民館費      | 4,081 |         |       |
| 歳出合計         | 4,081 |         |       |

## 平成10年度 下市田区一般会計予算書

(平成10年4月1日～平成11年3月31日)  
平成10年3月23日議決

| 【1. 収入の部】 |        | 【2. 支出の部】 (単位 千円) |        |
|-----------|--------|-------------------|--------|
| 区 分       | 本年度予算額 | 区 分               | 本年度予算額 |
| 1. 区 費    | 15,780 | 1. 総 務 費          | 12,430 |
| 2. 繰 入 金  | 1,510  | 2. 環境衛生費          | 510    |
| 3. 町支出金   | 3,890  | 3. 林 務 費          | 870    |
| 4. 財産収入   | 1,680  | 4. 土 木 費          | 4,560  |
| 5. 寄付金    | 200    | 5. 水 利 費          | 730    |
| 6. 消防義務金  | 2,500  | 6. 消 防 費          | 2,700  |
| 7. 諸収入金   | 1,030  | 7. 公民館費           | 3,010  |
| 8. 前期繰越金  | 5,300  | 8. 予 備 費          | 7,080  |
| 合 計       | 31,890 | 合 計               | 31,890 |

随

想

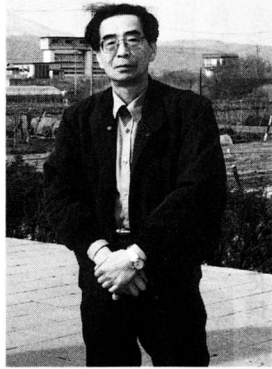


## 木片人形

二区 村松 睦 三

このごろ木材工芸に興味を持ちはじめた私は、昨秋上田市にある「尾沢木彫美術館」を訪ねてみた。この美術館は尾沢千春氏が私財を投じて建てたもので、彼の本彫作品と農民美術にかかわる多くの作品が展示されている。彼は自由画教育を提唱し、農民美術活動を進めた山本鼎氏の意をついで制作活動が続けている木彫界の第一人者である。出迎えてくださった小柄で朴訥な老人が尾沢氏その人であった。

氏の案内で館内の作品をゆっくりと鑑賞させてもらおう。どれも心を打つ作品ばかりである。そうした大作の中に高さ十センチほどの小さな木片の人形が目にとまる。素



## 作る・出来る・授かる

四区 玉置 俊 通

このごろいろいろな場所での会話の中から「子どもを作る」とか「作った」という言葉が聞かれます。ひとむかし前には「子どもが出来た」と言っていたように思います。さらに溯れば、「子どもが授かった」と言っていました。(今でも授かったと言われる方もおられありますが)どちらでも意味は同じだからいいではないか。といわれればそれまで。

「しかし」とあえて言いたいわけなのです。近年の子どもに係わる問題は不登校・ナイフでの殺人など深刻です。忌まわしい事件が続出しています。文部大臣が青少年に対して異例の呼びかけをするなど世を挙げて対策に苦慮しています。また、文部大臣が教育関係団体代表と、これはまた異例の話し合いをもちました。

## 子どもの成長と共に

五区 林 美智子

主人と小四の長男、小二の二男、三男に囲まれて、毎日にぎやかに暮らしている一主婦です。

子供が成長する毎に手がかからなくなり、かえって休みの日には、洗い物・風呂掃除・玄関掃除・洗面所掃除・カメの水かえなどを交代でやってくれるようになり、とっても助かっています。

先日も組合の一泊旅行へ初めて参加させていただきました。楽しい旅行でした。



そのあと各代表者はいろいろなコメントを発表していましたが、全員に共通していたことは「政府の対策でもないし、どこかの団体・機関への注文」でもありません。

作家を読む事ができます。二・三日ため読みする事もありますが、楽しみにしています。子供にも、たくさん本を読んでもらいたいと思います。

子供の成長と共に役員もついてまわるものですね。役をやる前は「できれば、他の人にやってもえらうといいなあ。」と思っていた。保育園・小学校とやらせていた。いってみると、資料作りや段取りなど大変な事もあります。いろいろな方にお会いできて、大変だった分楽しい事もたくさん



せんでした。

異口同音に「家庭の教育力の回復」を訴えていました。どう考えても、それしか方法はないようです。

ここでひとこと。『子ども』を作る、『が出来た、』が授かった。の言葉をもう一度よくかみしめてみたいものです。

現在の大人がその中に潜む、大事な大事な意味を、み分けられないとしたら、いまの子どもたちは、決して救われないと思います。

人間の存在の意義の根底にふれることだからです。

あり、やってよかったと思います。

皆が健康で、仲良く、子供の成長と共に親自身も成長していきたいものです。





ついこの間、中学校に入  
学したばかりとおもって  
いたら、早いもので、僕も、

もう三年生です。  
まずは、四月の修学旅行  
をスタートに中学校生活最  
後の一年がはじま  
ります。

部活や進路の事  
等、色々考えてい  
かなくてはいけな  
いことが、いっぱ  
いあります。  
僕は一年生の時  
は、部活にまじめ  
に出ていました。

## 三年生になって

中三 串原慎治(六区)

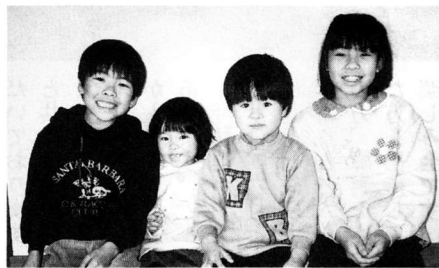
## わたしの作文 ぼくの作文



お父さんが、ミュージカルの練習へ行きます。三月は、毎日のように行きます。私は、「お父さん、今日はミュージカルの練習、休んでほしいな」と思う時もありました。お父さんは、オーケストラで、ベースをひいています。おばあちゃんは、コーラスで歌を歌っています。おばあちゃんは、仕事から帰って、ごはんを食べずに練習に行く時もあります。二十二日に、ミュージカルを見に行きました。私

## ミュージカルを見て

小四 宮竹麻衣(三区)



一番右が麻衣さん

は、ミュージカルを見て、「お父さんやおばあちゃん、こんなにたいへんなこ

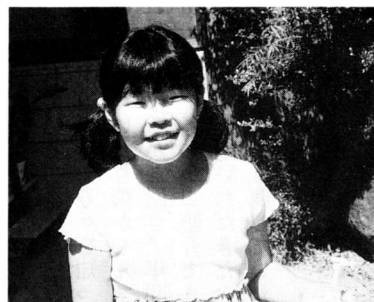
でも、二年生になって、部活にあまり積極的に参加できなくなり、参加しても、まじめに取り組めない事が多かったので大会で一勝もできませんでした。だから今年は、がんばってとにかく一勝できるようにしたいとおもいます。  
それと同時に進路のことについても、将来どのような仕事につきたいかしっかりと考えて自分にあった道を、進んでいきたいとおもいます。



とをしていたんだ。」と思いました。見ているうちに、だんだん楽しくなってきました。おうめが、川にとびこんで死んでしまうところ、とてもかわいそうでした。さいごは、たくさんはくしゅをして、アンコールもしました。学校の音楽の先生や、弟の先生、友だちや町長さん、たくさん知っている人が、出ていました。みんな、いつもたくさん練習をしたんだと思います。私はみんなが、ちからを合わせてがんばったから、せいこうしたんだと思います。私はミュージカルを見て、とても感動しました。もう一度、見たいな。

## 私の夢

小六 鈴村雪乃(二区)



雪乃さん

私のしよ来の夢は、お金を貯めて、フランスへ旅行に行くことです。なぜ、イギリスなどではなく、フランスに行きたいかという、それは、「ファール昆虫記」の著者、ファール昆虫記の家を見に行きたいからです。私は、虫やトカゲなどが好きで、よく昆虫記を読んでいたのでまわりの自然や動物を、自分でも観察してみたくなったからです。

私がしよ来、なりた

職業は、四つあります。一つは、図書館の職員です。なぜかという、本を読むのが好きなので、その本がある所で働きたいからです。

二つ目は、作家です。前にも書いたように、私は本が好きだし、他の人に、私の書いた本を、読んでもらいたいからです。

三つ目は、雑貨屋さんです。私はかわいい小物やお皿などにも興味があるので、そういうのを扱ってみたいです。

四つ目は、イラストレー

ターです。私は、マンガは無理だけど、ポケモンの絵などのイラストをかくのはとくいなので、一度なりたいです。

しよ来の夢は、四つもある、なるのはどれか、ちょっと迷ってしまっています。

私が今一番やりたいのは、雑貨あつめです。かわいい植木ばちや、ヌイグルミを自分の部屋にいたり、ちいさなあわ立て器や、こなふるいなどを集めておかしを作ったりして、楽しみたいです。

私にはたくさん夢があります。どれがかなって、ちゃんとやりとげていきたいです。

## グループ紹介

## 唄う民謡 長月会

今村秀雄

私達、唄う民謡の長月会は、家元丹山範雄先生の丹山連合会の門下で、飯伊地域には十七支部あり、一支部が高森町に範那支部としてあります。

範那支部のなかに「朗明

グループ紹介で「萩の会」を、という事でしたので会の活動を少し紹介させていただきます。

## 萩の会 仲平よし子

この会は平成元年に発足致しました。三区の婦人会、日赤、たんぽぽ会、食改、暮らしを考える会などと呼ばれ、十数人で始めました。お年寄りを招待してお楽しみ会で、この頃はバスをお借りし、会員手作りのお弁当を持って町内めぐりをしたり、紅葉を見に松川ダムまで足をのばした事もありました。



地域に花いっぱい運動、地下歩道の壁画書きのお手伝いなどでもしてまいりました。

この会は部落長さん、老人クラブの会長さん、民生委員さんにも加わっていた

だき、協力していただいております。年と共に会員の数も増えてまいり、現在二十八名、今年も何人か入って下さる方があります。

今私達がやっている事は、六月と十月に七十七歳以上のお年寄りと一緒に暮らした方、障害をもたれた方を招待してお楽しみ会です。会員持ちよりの野菜等を使って、手作りの昼食会をして一日を楽しんでいただいております。

借りして、塚平嶺子先生のご指導で練習をしています。日頃の練習の成果は、町行事のふるさと祭りの参加や、社協主催の高齢者交流会のアトラクション出演、

下市田区の文化祭りの参加、範那支部のおさらい会、飯伊地区丹山連合会の隔年ごとに実施するおさらい会と発表会、コンクールに参加して、みんなで心から唄うことを楽しんでいます。唄う時以外にも折々に、新年

会、暑氣払い、小旅行、忘年会等で交友を深める事もしています。

今年の行事は六月二十八日(日)に、吉田公民館で範那支部会員が七十曲を唄います。是非皆様で聞きに来てください。

民謡を大きな声を出して唄う事は姿勢がよくなり、ストレス解消、健康増進、仲間もたくさんできます。

日頃は何かとお忙しい毎日をお過ごしのことと思いますが気軽に入会できます。一緒に唄ってみませんか。これから

ります。その他、デイサービスでやすらぎ荘へ行く方の付き添いや、施設へも出向き何回かお手伝いをさせていただいております。

今年にはミュージカルの風車作りのお手伝いもしました。又地域の要請に応じてその都度お手伝いしてまいりました。会員の親睦のために手芸等の楽しみもしております。

十年たちますと会員の平



## 編集後記

本年は、二月、三月に冬季オリンピック、パラリンピックと世紀の祭典の続いた中で、今度は七年に一度の萩山神社式年祭御柱祭りが好天に恵まれて盛大にできた。御同慶にたえない。区報の記事としても取り上げたが、祭典と編集時期が重なり関係記事を担当された方々には忙しい思いをさせたがご許しをいただきたい。

区報では、下市田へ転入されて来た方を、「ようこそ下市田へ」と題して紹介してきたが、一昨年から隔年に、下市田出身の方で、町外へ転出された方も、「故郷への便り」として紹介している。本年は後者で、下市田出身の方々を知っていただいたり懐かしんでいただけかと思う。年間に各区一名しかご紹介できないがご登場いただきた方があったら推薦していただければと思う。

今年、萩の会が町より表彰され、立派な賞状をいただいております。この賞状に恥じないようこれからも奉仕活動を続けてまいりたいと思っております。

区報も四十号となった。昭和五十九年一月発行以来十五年目である。十五年間の歩みは、下市田の生きた歴史の記録でありその重みをひしひしと感ずる。